

だいほう 大正元年 辛丑の冬十月、 おほきすめらみこと
すめらみこと 天皇、 紀伊国に幸す時の歌十三首 太上天皇・大行

一六六七番

いも 妹がため 我玉求む 沖辺なる 白玉寄せ来 沖
しらなみ つ白波

一六六八番

しらなみ 白崎は 幸くあり待て 大舟に ま梶しじ貫き
またかへり見む

一六六九番

みなべ 三名部の浦 潮な満ちそね 鹿島なる 釣する
あま 海人を 見て帰り来む